

米 峰



発行日 2009年4月(第28号)
発行者 (株)柏崎マリン開発(指定管理者)

〒945-0854 新潟県柏崎市東の輪町8-18
TEL: 0257-21-1255 FAX: 0257-21-1670
電子メールアドレス info@kashiwazaki-marine.jp
ホームページアドレス http://www.kashiwazaki-marine.jp

※発行された会報は、マリーナのホームページからもご覧いただけます。

お知らせ

◆専用利用料のお支払について

今回、専用利用者の皆様方へは、平成21年度のマリーナ専用利用料(保管料)のご請求書を同封させていただいております。期限内(本年度は5月6日(水)迄)にお支払いをいただいた方には「**早期一括支払還元制度**」により5%還元の適用がありますので、**キャッシュバック**または**前受金預り方式**のいずれかをご選択いただき、お支払いの際にマリーナへお申し出下さい。なお、お振込みの方については、お申し出のない限り前受金預り方式とさせていただきます。

◆平成21年度ウインチ上下架料金について

平成21年度以降、上下架料金を年会費制から1回制へ、または1回制から年会費制に変更を希望される方は、4月20日(月)までにマリーナまでご連絡ください。

年会費という性格上、年度途中でのご変更はお受け致しかねますのでご注意ください。特にご連絡がなければ、昨年度と同じ上下架料金を4月末頃発送の請求書にてご請求させていただきます。

◆大型桟橋をご利用の皆様へ「共同下架」のご案内

今年は4月25日(土)、5月3日(日)の2日間の日程で大型桟橋利用艇の共同下架の実施を予定しております。該当される方には別紙「**共同下架のご案内**」、「**定期配置のご案内**」、「**配置予定日表**」を同封しておりますので、詳細はそちらをご覧ください。

※マリーナからのお願い!

皆様が船に乗り降りする際、個々に使われている脚立(きやたつ)は、お互いに間違いを防ぐ意味でも持ち主様の船名などを書いていただき、さらに自身の船台にロープで固定するなどして、各自で管理していただきますようお願いいたします。

どなたのものか分からずポートヤード内に放置してあるものについては、マリーナでは破損・盗難等一切の責任を負いかねます。また、安全上使用ができないものについては、そのまま放置し続けることによりマリーナの**美観**を損ねる原因ともなりますので、**廃棄処分**とさせていただきます。



駐車場の隅には多くの脚立が放置されています。



船名を記入し、このように管理してください。

■安全祈願祭の開催についてのお知らせ



柏崎マリーナでは、大型桟橋艇の共同下架に合わせて安全祈願祭を執り行っております。これらはマリーナをご利用の皆様が、一年間安全に楽しんでいただけますよう、オーナー様および愛艇に対し神主さんからご祈願いただくものです。

参加はどなたでも自由となっておりますし、参加料も無料です。シーズン開始に合わせてぜひご参加ください。なお、個々にお札を希望される場合は別途1,000円が必要となりますのでお申し込み時にお知らせください。

- 【日 時】 4月25日(土) 午前8時20分から(30分程度)
- 【場 所】 柏崎マリーナ駐車場にて(雨天の場合は、管理棟2階にて行います。)
- 【内 容】 御嶽山神社の神主さんにより祈願・お祓いをしていただきます。
- 【申込み】 新潟県柏崎マリーナ

◆「第19回新潟ボートショー」の開催

来たる4月18日(土)、19日(日)の両日、新潟市産業振興センターにおいて新潟ボートショーが開催されます。例年、開催は毎年2月となっておりますが、今年は3月に開催されました横浜のボートショーの後に開催するという事に決定いたしました。入場は無料となっており、当マリナーも出展をしております。モーターボート中心ではありますが、時期的に陽気も良く、会場イベントや各社即売会などもあり楽しめる内容となっておりますので、ぜひ足をお運び下さい。



昨年は悪天候にも関わらずたくさんの方にお越しいただきました。



柏崎マリナーの出展ブースです。施設の概要や活動内容を紹介しています。



ボートや船外機、航海計器などが展示されており、実際に見て・乗って・触ることが出来ます。



昨年は、釣り番組などでお馴染みの「永浜いりあ」さんのトークショーがありました。



マリナーのブースには皆さんの釣果写真が飾られ、注目を集めていました。

平成20年度「海上でのトラブル」報告 (平成20年4月～21年3月)

平成20年度の「海上でのトラブル」に対する米峰号の出動回数は合計6回でした。柏崎マリナーでは、皆様の出港中に起きたトラブルに対し、依頼により専用艇(米峰号)にて海上出張・点検に伺わせていただきます。(出張や点検に伴う費用は別に定める料金を徴収いたします)

海上には陸上と違い、道路もなければガソリンスタンドもありません。車と違い、船は風が吹けばあっという間に流されてしまうため、**エンジントラブルは即漂流**へとつながります。トラブルを未然に防ぐためにも日頃の点検を励行してください。

時期	出動～帰港までの時間	場所	トラブルの状況
20年 7月上旬	12:20～ 15:15	なか 中の瀬 (水深 120m)	<p>【状況】 エンジン音に異常を感じ、エンジンルームを見たら浸水していたため慌ててエンジンを止め、マリナーに連絡をした。その後、米峰に曳航され帰港する。</p> <p>【原因】 冷却システムのホースが外れ、エンジンルーム内に水が溢れた。この時点で原因は不明。浸水した海水を抜き、ホースとバンドを交換した。</p>
7月中旬	15:00～ 16:30	げんぼつ 原発沖 (水深 120m)	<p>【状況】 上記船舶、試運転中にエンジンルーム内に再び浸水を確認。前回同様にホースが外れていたため、航行を停止させ、応急処置後低速にて帰港する。</p> <p>【原因】 排気と冷却水の混合部(排気エルボー)の腐食により冷却水排出部が狭くなり、冷却系の内圧がエンジンの回転上昇に合わせ、異常上昇したためホースが外れ、海水が流入したものと判明。排気エルボー内は高温の上、常に冷却のための海水が流れている環境のため、腐食の進行が早い部分です。</p> <p>そのため、毎年シーズンオフには点検を受け、必要があれば交換するようにして下さい。</p>
8月上旬	13:45～ 18:30	ありまがわぎよこう 有間川漁港沖 (水深 18m)	<p>【状況】 ヨットが能登半島方面へ長距離航海に向かう途中、エンジントラブル。折りしも陸に吹き付ける北風が強まりつつあり、岸に打ち寄せられる心配もあった為マリナーに連絡。その後、米峰に曳航され帰港する。</p> <p>【原因】 燃料に水が混入していたことが原因による噴射ノズルの動作不良。対策としては、油水分離器の取り付け及び定期的なメンテナンスが必要です。</p>

時期	出動～帰港までの時間	場所	トラブルの状況
8月中旬	12:00～ 13:00	あげわおほし 上輪大橋沖 (水深 50m)	【状況】航行中突然エンジンが停止。エンジンを始動しようとするも始動しなかったため、マリーナへ連絡。米峰に曳航され帰港する。 【原因】エンジンのコンロッド部折損。後日エンジン換装。原因は不明。
8月下旬	13:30～ 14:40	しいや 椎谷沖 (水深 50m)	【状況】釣りの最中、警報が鳴りそのまま放置した結果、エンジンが停止。再始動を試みるも始動しなかったためマリーナに連絡。ちょうど米峰が駆けつけた頃にエンジンが始動したので、念のために伴走して帰港。 【原因】帰港後点検するも、異常なし。おそらく冷却水の取り入れ口にビニール袋が吸い込まれた模様。しばらくエンジンを切っていたことにより、自然に取れたのではないかと思われる。
9月中旬	11:55～ 12:25	マリーナ前 漁礁付近 (水深 50m)	【状況】釣り糸がプロペラに絡まった為、ドライブを上げ点検。元に戻そうとした所、戻らなくなる。そのままでは走行できないのでマリーナに連絡。米峰から相手船へ乗り移り、応急的にドライブを下げ走行。念のため米峰が伴走して帰港。 【原因】ドライブを上下させる油圧シリンダーの動作不良。年式の古い船には、経年劣化による油圧機構の不良はよく見られる現象です。出港前にドライブの動きを点検して下さい。

工場だより

◆GPSプロッターの内蔵バッテリーの寿命について

普段、皆様がお使いのGPSプロッターには、今まで入力したポイントや航跡のデータなどを記憶しておく「RAM」と呼ばれる部品が内蔵されています。RAMは電源の供給が絶たれると、記憶したデータも消えてしまうことから、その多くはボタン型の小型電池で常時電源を供給しています。ところが、その電池にも当然寿命はあり、機器の使用状況にもよりますが、早くて2～3年、長くとも5～6年で電池が切れてしまいます。「出港してから電源を入れたら、長年蓄積してきた釣りのポイントが全て消えていた」ということは、最近よく耳にする話です。

このように、データの消失は何の前触れもなく突然やってきますので、概ね10年以上前の機種をお持ちの方は、定期的な内蔵電池の交換をおすすめいたします。それよりも新しい機種の中には、電源投入後の画面上にバッテリー残量が表示されるものもありますし、本体に「外部メモ리카ード」差込口の付いているものもあります。

また、最近のものでは、電源の供給が絶たれてもデータが消えない「フラッシュメモリ」という記憶部品を使用したものなどもあります。さらに、各メーカーの上位機種では、これらの機能を組み合わせ、2重のデータのバックアップ対策を取っている商品も発売されています。

電池は出港数の減る冬の間に消耗し続けるため、「電池切れ」の多くは船が動き始めるこれからの時期に起こります。キャリアが長くなればなるほど記憶されたデータ量もそれに比例して膨大な量になってきます。人間のキャリアと同様に機械のキャリアも長くなってはいないでしょうか？大切なデータが消えてしまう前に、メモリーカードにデータをコピーするか、あるいは緯度・経度データをノートに書き写す等の対策を講じることをお奨めいたします。



カバーを外すと、中身が詰まっています。指し示している奥に電池があります。



電池は振動で外れないように基盤にしっかりと固定されています。



電池の取付け・取外しは慎重に行います。



これが内蔵電池です。メーカー推奨の交換時期は3年となっています。

真鯛釣りが盛んなこの時期、多くの船が上越方面へ向かう中、沿岸ではソイにメバル、そしてカレイなどの根魚が良く釣れるようになります。

ムシガレイは体の表面に菊の花のような斑点が多数あることから通称“キクガレイ”とも呼ばれています。普段は水深 100m以上にいる魚ですが、2月～5月に産卵期を迎えることからこの時期は 50m前後の浅場まで上って来ます。釣りをやる方にとっては、釣り物の少ないこの時期ありがたい存在です。他のカレイと違い、体も細めで水面に上げるまで小気味いい引きをするこのムシガレイは、味も良いことから人気の魚となっています。刺身に煮付けに唐揚げと嫌いな人が少ない魚ですから、誰にあげてもとても喜ばれると思います。

カレイの仲間には、オヒョウ（カレイ科の魚で大鰾と書く）という大型の種類もいて、アラスカでは 150kg/2mクラスが毎年捕獲されており、年に 1 回、何百万円もの賞金をかけて大会まで行なわれているそうです。過去には 318kg/2.7mという記録も出たそうで、この大きさは魚の中でも最大の部類に入る大きさです。ちなみに、ヒラメやカレイの仲間は、オスよりもメスのほうが成長も早く、長生きするとのことで、このような巨大なものはたいていがメスだそうです。

このオヒョウという魚、日本でも東北から北海道にかけて 1mを超える大型も釣れるという話ですから、これを狙いに一度遠征してみてもいいかもしれません。



これで 358 ポンド (約 161kg) です。
※上記画像は「Halibut Derby」より転載

告知コーナー

【KMOC 2009 年の年間活動予定】

柏崎マリーナオーナーズクラブの今後の年間活動予定をお知らせいたします。同じマリーナに集う者同士、各種イベントは大勢の皆様に参加いただき一緒に楽しみたいと思っております！まだ加入されていない方は、これを機会にぜひ！ご入会いただきますようお願い申し上げます。

月日	活動項目	内容
1月	マリーナ運営検討懇談会	新潟県、KMOC、柏崎外洋ヨットクラブ、柏崎無線組合等が参加（マリーナ会議室）
4/5(日)	安全講習会	柏崎消防署救急救命士による AED を使用した講習会（マリーナ会議室）
4/25(土)	安全祈願祭	大型栈橋艇の共同下架の時期に合わせ、マリーナ所属艇全艇を対象とした安全祈願祭を行う
7月 12(日)	キス釣り大会	参加者を募り、マリーナ周辺海域にて実施
8/8(土)	マリーナフェスティバル（夏季懇親会）	マリーナ屋外にて生ビールとバーベキュー、生バンドの夕べ。マリーナと共催
8/9(日)	ヨット・ボート合同クルージング	青海川周辺などマリーナ沿岸への合同クルージング
8月下旬	柏崎マリンスポーツフェスティバル	マリーナでの体験航海への出艇協力
8月下旬	海上救助訓練と救命胴衣着用落水実験	海上保安庁と協力し、マリーナ沖の海上で救助訓練および落水実験を行う
11/28(土)	KMOC 総会	マリーナ会員懇親会々場にて実施
11/28(土)	マリーナ会員懇親会（冬季懇親会）	マリーナ近くのホテルにて実施。マリーナと共催。KMOC 総会の実施
通年	第 5 回年間大物賞	実施期間と魚種を決めての釣り大会（詳細はマリーナホームページをご覧ください）
通年	第 1 回 マリンフォトコンテスト	実施期間を決めての写真コンテスト

※上記の内容は、天候やその他の理由により変更する場合があります。日程が未定のものについてはマリーナの HP 等で随時更新いたします。

※このほか必要な時に随時、役員会または事務局にて打ち合わせを行います。